

(様式第9)

分大医総病第23号
平成21年10月2日

厚生労働大臣 殿

大分大学医学部附属病院長
古 林 秀

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	74人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常勤	非常勤	合計	職 種	員数	職 種	員数
医 師	198人	195.0人	393.0人	看護業務補助	4人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	6人	11人	17人	理学療法士	6人	臨床検査 衛生検査	臨床検査技師 35人
薬 剤 師	26人	0人	26人	作業療法士	4人		衛生検査技師 0人
保 健 師	1人	0人	1人	視能訓練士	2人		そ の 他 0人
助 産 師	19人	0人	19人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	458人	53人	493.7人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	17人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	111人
管理栄養士	5人	0人	5人	診療放射線技師	22人	そ の 他 の 職 員	52人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たりの平均入院患者数	503.9人	8.6人	512.5人
1日当たりの平均外来患者数	912.3人	39.1人	951.4人
1日当たりの平均調剤数	1,563.3剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」の欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

1 先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮筋腫核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療（心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。）	有・無	人
胎児心超音波検査（産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。）	有・無	人
インプラント義歯（顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。）	有・無	人
顎顔面補綴（腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。）	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療（顎関節症（顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法（神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。）	有・無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法（歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。）	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第七因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
緊強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	1人
悪性腫瘍に対する粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(突発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進性胃腸症、難治性肝性腹水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔除圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、眼瞼癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着期その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31 磷-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	3人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	2人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術)を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診療と治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
H L A抗原不一致血縁ドナーからのC D 34陽性造血幹細胞移植(H L A適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるC T透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚繊維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
C Y P 2 C 1 9遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線C T診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに限る。)	有・無	人
定量的C Tを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・無	人
骨移動術による間接温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
肝切除手術における画像支援ナビゲーション（原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。）	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法（腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍（食道がん、胃がん又は大腸がん）、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。）	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。）	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。）	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断（EBウイルス感染症に係るものに限る。）	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術（尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍（精巣がんから転移したのものに限る。）又は骨盤リンパ節腫瘍（泌尿器がんから転移したのものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（白内障に係るものに限る。）	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断（遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。）	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断（フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。）	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断（先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。）	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術（手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。）	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断（甲状腺髄様癌に係るものに限る。）	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析（角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。）	有・無	人
強度変調放射線治療（限局性の固形悪性腫瘍（頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション（機能性及び器質性過多月経（ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。）であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。）	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査（EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。）	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助（ICD-10（統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件（平成二十一年総務省告示第百七十六号）の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。）においてF2（統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害）に分類される疾病及びF3（気分（感情）障害）に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者（器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術（下肢慢性静脈不全症（下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴（小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。）	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（早期大腸がん（EMR（内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。）では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。）又は腺腫（EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援（骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。）	有・無	人
内視鏡下頸部両性腫瘍摘出術（頸部良性腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術（転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。）	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	26人
カフェイン併用化学療法（骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術（ブルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。）	有・無	人
筋過緊張に対する muscle afferent block（MAB）治療（ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。）	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法（従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法（腎悪性腫瘍（従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術（手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。）	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法（転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫（診断の確実なものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法（一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。）	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術（特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症（NIHF）例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの（妊娠二十週から三十四週未満に限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法（二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。）	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術（部分切除及び外側区域切除を除く。）	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援（前立腺がんに係るものに限る。）	有・無	人

(様式第10)

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	52人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	30人
・多発性硬化症	36人	・ウェゲナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	42人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	19人
・全身性エリテマトーデス	175人	・多系統萎縮症	19人
・スモン	1人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	12人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	141人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・筋萎縮性側索硬化症	13人	・原発性胆汁性肝硬変	21人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	78人	・重症急性膵炎	0人
・特発性血小板減少性紫斑病	22人	・特発性大腿骨頭壊死症	37人
・結節性動脈周囲炎	20人	・混合性結合組織病	25人
・潰瘍性大腸炎	64人	・原発性免疫不全症候群	0人
・大動脈炎症候群	13人	・特発性間質性肺炎	35人
・ピュルガー病	3人	・網膜色素変性症	13人
・天疱瘡	8人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	22人	・原発性肺高血圧症	0人
・クローン病	30人	・神経繊維腫症	6人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	46人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリ-[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	27人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	4人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<p>①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</p> <p>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</p>		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	平均して毎月1回		
剖検の状況	剖検症例数	28例	剖検率 11.3%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
制限増殖型レオウイルスを利用した新しいリンパ節転移診断法の開発	衛藤 剛	外科	千円 800	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
オピオイド鎮痛薬関連遺伝子多型情報の個別化疼痛緩和治療への有用性	大橋 京一	臨床薬理センター	1,100	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
過栄養性脂肪肝の発症・進展に関与する継続生理活性物質の単離	加隈 哲也	内科	1,200	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
視床下部ヒスタミンH1受容体を介す生体リズムとエネルギー代謝調節のクロストーク	吉松 博信	内科	700	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
エピプラキンのin vivo複合体の同定とその機能	藤原 作平	皮膚科	800	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
新しい表皮接着因子デルマトポンチンの機能解明と治療応用方法の開発	岡本 修	皮膚科	700	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
小型斜流式血液ポンプを用いた循環補助装置の研究	穴井 博文	心臓血管外科	1,400	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
低酸素状態における脳腫瘍細胞と血管内皮前駆細胞間のクロストーク解析と分子標的治療	阿部 竜也	脳神経外科	1,000	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
骨リモデリングにおけるBMPとビスホスフォネートの協調作用効果の解析	片岡 晶志	整形外科	1,900	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
上気道粘膜における免疫監視、免疫制御誘導の解明	鈴木 正志	耳鼻咽喉科	1,100	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
高齢ラットの虚血再灌流性急性腎障害における知覚神経活性化の役割	水谷 明男	麻酔科	1,100	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
更年期女性の微小血管性狭心症の病態解明と漢方治療の確立	中川 幹子	内科	1,500	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
漢方薬の生理活性ペプチドを指標とする薬効解析	武山 正治	薬剤部	1,200	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
緑膿菌感染症の制御に向けた新戦略一線毛を標的としたワクチン療法の開発	門田 淳一	内科	1,600	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会
GNE遺伝子異常に伴う遠位型ミオパチーの治療法の開発	熊本 俊秀	内科	1,700	③ 委 独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
不安障害におけるobestatinの役割	穂吉 條太郎	精神科	1,200	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
胃静脈瘤に対するコアキシャルバルーンカテーテルシステムを使用した治療法の確立	清末 一路	放射線科	2,800	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳低体温療法施行時の患者重症度に関する研究—電子スピン共鳴法を用いた検討	新宮 千尋	麻酔科	1,200	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
HMGB1を標的とした血液浄化による新たな敗血症治療法の開発	日高 正剛	麻酔科	1,300	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
サイトカインのシグナル制御を基盤とした外尿道括約筋再生療法の開発	三股 浩光	泌尿器科	1,900	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
子宮内膜症の病態の解明と新しい視点に基づく治療法の確立	奈須 家栄	産科婦人科	2,300	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
血小板活性化因子による絨毛及び脱落膜の血管新生の制御	楯原 久司	産科婦人科	2,300	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
樹状細胞を標的とした上気道粘膜ワクチン開発—上気道炎と頭頸部癌への応用—	児玉 悟	耳鼻咽喉科	1,400	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
TGF-βシグナル関連因子阻害による増殖性硝子体網膜症の治療戦略	木許 賢一	眼科	1,600	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
網膜電気刺激による網膜視神経保護治療の開発	篠田 啓	眼科	1,200	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌に対する浸潤・転移抑制療法確立のための基礎研究	河野 憲司	歯科口腔外科	900	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
遷延分岐定義の再評価	穴井 孝信	心臓血管外科	400	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
エピプラキン分子サイズと結合分子の同定	竹尾 直子	皮膚科	800	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
人工呼吸時の気道内圧の差が気道内のMUC (mucin) 2の発現に及ぼす影響	吉良 慎一郎	麻酔科	500	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
肺線維化におけるthrombospondin-1を継続標的分子とした治療戦略	石井 寛	内科	1,300	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻における短絡部の検討ならび選択的塞栓術の確立	相良 佳子	放射線科	300	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会
ラット間接血行再建モデルにおける低酸素関連遺伝子による新生血管の誘導	阿南 光洋	脳神経外科	1,000	⑥補委 独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
人工呼吸下での気道内mucinの発現に対する異常体温の影響－高体温vs低体温－	長谷川 輝	麻酔科	900	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
ヒト大腸スピロヘータ症 免疫組織学的および血清学的診断法の確立	棚橋 仁	内科	600	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
なぜエピプラキン欠損時に表皮細胞遊走能が亢進するのか？	後藤 瑞生	皮膚科	2,500	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
神経膠芽腫の浸潤能獲得における増殖因子を介したArf6活性機構の解析	森重 真毅	脳神経外科	1,300	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
心筋虚血再灌流障害における水素ガスの抗酸化効果の検討	古賀 寛教	麻酔科	1,600	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
ヒト外尿道括約筋におけるマイオスタチンの関与とその抑制による筋再生についての研究	住野 泰弘	泌尿器科	1,400	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
子宮内膜の再構築の調節に関する研究	松本 治伸	産科婦人科	1,700	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
上気道におけるCCL20/CCR6を介する粘膜免疫誘導機構の解析	安倍 伸幸	耳鼻咽喉科	900	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
同種間複合組織移植における組織虚血と拒絶反応の関係	清水 史明	皮膚科	2,500	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
進行大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する比較研究	北野 正剛	外科	43,999	(補) 厚生労働省 委
メタボリックシンドロームの保健指導に歯科の観点を導入することの効果に関する研究	柳澤 繁孝	歯科口腔外科	4,000	(補) 厚生労働省 委
グローバル早期臨床試験推進のための大学病院ネットワーク構築の基盤整備事業	大橋 京一	臨床薬理センター	92,544	(補) 厚生労働省 委

計 12
合計 44

- (注) 1 国，地方公共団体又は公益法人からの補助金の交付又は委託を受け，当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち，高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は，1つの研究について研究者が複数いる場合には，主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は，補助の場合は「補」に，委託の場合は「委」に，○印をつけた上で，補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Neuropathology (20年12月発行)	An autopsy case of portal-systemic shunt encephalopathy presenting with diffuse cerebral white matter lesion.	木村成志	内科
2	Clinical Neurology and Neurosurgery (21年3月発行)	Monofocal large inflammatory demyelinating lesion, mimicking brain glioma.	木村成志	内科
3	International Immunopharmacology (21年3月発行)	Improvement of deficient natural killer activity and delayed bactericidal activity by a thiol proteinase inhibitor, E-64-d, in leukocytes from Chediak-Higashi syndrome patients in vitro.	熊本俊秀	内科
4	Internal Medicine (20年12月発行)	Salivary chromogranin a: useful and quantitative biochemical marker of affective state in patients with amyotrophic lateral sclerosis.	熊本俊秀	内科
5	Respiratory Medicine (20年6月発行)	High-resolution computed tomography patterns and immunopathogenetic findings in drug-induced pneumonitis.	宮崎英士	内科
6	Respiratory Medicine (20年6月発行)	Reduced IgG levels found during acute eosinophilic pneumonia, which normalize during recovery from disease.	竹中隆一	内科
7	International Archives of Allergy and Immunology (20年5月発行)	Asthma and sinusitis: association and implication.	竹中隆一	内科
8	Archives of Gerontology and Geriatrics (21年1月発行)	Influence of age on symptoms and laboratory findings at presentation in patients with influenza-associated pneumonia.	竹中隆一	内科
9	Lung Cancer (21年3月発行)	Low podoplanin expression of tumor cells predicts poor prognosis in pathological stage IB squamous cell carcinoma of the lung, tissue microarray analysis of 136 patients using 24 antibodies.	伊東猛雄	内科
10	Journal Allergy and Clinical Immunology (20年10月発行)	Increase in inflammatory mediator concentrations in exhaled breath condensate after allergen inhalation.	宮崎英士	内科
11	Clinical Experimental Allergy (20年12月発行)	Comparison of cysteinyl leukotriene concentrations between exhaled breath condensate and bronchoalveolar lavage fluid.	宮崎英士	内科
12	Clinical Experimental Allergy (21年1月発行)	Increased production of cysteinyl leukotrienes and prostaglandin D2 during human anaphylaxis.	宮崎英士	内科
13	Clinical Rheumatology (20年9月発行)	Minocycline for the treatment of sarcoidosis: is the mechanism of action immunomodulating or antimicrobial effect?	宮崎英士	内科

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
14	臨床神経学 (20年4月発行)	大腸癌とその転移にともなう凝固線溶系の異常により脊髄円錐部出血をきたした1例.	迫 祐介	内科
15	日本胸部臨床. (21年1月発行)	除草剤グリホサート吸入による急性肺傷害との鑑別が困難であったPL顆粒による薬剤性肺炎の1例.	宮崎英士	内科
16	日本内科学会雑誌 (20年8月発行)	障害部位・病態による臨床病型:筋の障害	熊本俊秀	内科
17	日本呼吸器学会雑誌 (21年3月発行)	汎小葉性モザイク状のすりガラス陰影を呈したサルコイドーシスの1例.	安東 優	内科
18	Biological Psychology (20年5月発行)	Social support and enhanced suppression of adrenocorticotrophic hormone and cortisol responses to hypothalamic-pituitary-adrenal function and thyrotropin-releasing hormone tests in patients with major depressive disorder	津留壽船	精神科
19	Medical Hypotheses (20年6月発行)	Mania is probably associated with hypoactivity of central brain-derived neurotrophic factor.	寺尾 岳	精神科
20	九州神経精神医学 (20年8月発行)	認知行動療法的アプローチの効果に乏しく遷延化していた神経性無食欲症に対し、olanzapine が有効であった3例	寺尾 岳	精神科
21	九州神経精神医学 (20年8月発行)	Aripiprazole を漸増・漸減し、至適用量を滴定した統合失調症の1例	寺尾 岳	精神科
22	九州精神神経医学 (20年8月発行)	プライマリケア医のうつ病診療に関する実態調査	寺尾 岳	精神科
23	American Journal of Psychiatry (20年10月発行)	Aggression, Suicide, and Lithium Treatment	寺尾 岳	精神科
24	Journal of Psychopharmacology (20年10月発行)	Pindolol augmentation of serotonin reuptake inhibitors for the treatment of depressive disorder: a systematic review	寺尾 岳	精神科
25	Psychiatry and Clinical Neurosciences (20年10月発行)	Unusual weight fluctuation under corticosteroid and psychotropic treatment	寺尾 岳	精神科
26	Psychiatric Genetics (20年10月発行)	Ghrelin gene polymorphism is associated with depression, but not panic disorder	穂吉條太郎	精神科

計13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
27	German Journal of Psychiatry (20年11月発行)	Drinking Spring Water and Lithium Absorption: A Preliminary Study	塩月一平	精神科
28	精神科 (20年12月発行)	薬物不耐性でECTが著効した統合失調症の1例	森永克彦	精神科
29	九州神経精神医学 (20年12月発行)	単回の精神科作業療法が精神症状に与える影響: Visual Analogue Scaleを用いた検討	山下 瞳	精神科
30	Primary Care Companion Journal of Clinical Psychiatry (20年6月発行)	Small Doses of Aripiprazole Augmentation of Antidepressant Treatment: A Report of 3 Cases	寺尾 岳	精神科
31	化学工業 (21年1月発行)	赤外線光を利用した精神疾患の治療	田中悦弘	精神科
32	精神医学 (21年2月発行)	幻視, 被害妄想, 脳内石灰化を呈し 家族性Fahr病が疑われた若年女性の1例	白浜正直	精神科
33	Journal of child neurology (20年11月発行)	Clinical Presentation of Patients With Neurofibromatosis Type1 in Infancy and Childhood: Genetic Traits and Gender Effects	末延聡一	小児科
34	日本周産期新生児学会雑誌 (平成20年12月発行)	新生児病床長期入院児の全国実態調査	前田知己	小児科
35	Journal of surgical oncology 97(5), 451-455 (20年4月発行)	Clinical significance of HLA class I heavy chain expression in patients with gastric cancer.	白石憲男	外科
36	Surgical endoscopy 22(4), 955-960 (20年4月発行)	Laparoscopy-assisted distal gastrectomy with D1+beta compared with D1+alpha lymph node dissection.	白石憲男	外科
37	Surgical laparoscopy, endoscopy & percutaneous techniques18(2), 216-218. (20年4月発行)	Laparoscopic treatment for a case of ileal anisakiasis.	白石憲男	外科
38	Journal of hepato-biliary-pancreatic surgery 15(2), 213-219. (20年4月発行)	Metastasis of hepatocellular carcinoma to spleen and small intestine.	太田正之	外科
39	International surgery 93(2), 107-110 (20年4月発行)	Subcutaneous gluteal metastasis from gastric cancer: case report and clinicopathologic analysis of 50 Japanese patients.	安田一弘	外科

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
40	Gastroenterological Endoscopy 50(5), 1364-1370 (20年5月発行)	NOTESに関する二学会合同委員会特別報告 NOTES 白書 本邦におけるNOTES研究の指針(解説)	北野正剛	外科
41	日本消化器外科学会 雑誌 41(6), 599-604 (20年6月発行)	高度肥満患者に対する腹腔鏡下調節性胃バンディング 術後の体重減少と併存疾患改善効果	太田正之	外科
42	Annals of surgical oncology 15(6), 1670-1676 (20年6月発行)	Short- and long-term outcomes after hepatic resection for hepatocellular carcinoma with concomitant esophageal varices in patients with cirrhosis.	甲斐成一郎	外科
43	Oncology reports 19(6), 1395-1398 (20年6月発行)	Efficacy of oncolytic reovirus against human breast cancer cells.	衛藤 剛	外科
44	Surgery today 38(8), 761-764. (20年7月発行)	Retrorectal epidermoid cyst in an elderly woman: report of a case.	安田一弘	外科
45	World journal of gastroenterology 14(28), 4583-4585 (20年7月発行)	Direct invasion to the colon by hepatocellular carcinoma: report of two cases.	平下禎二郎	外科
46	Medical Torch 4(1), 42-43(20.08) (20年8月発行)	タココンブ症例 内視鏡外科領域 透析患者の腹腔鏡下 胆嚢摘出術におけるタココンブの使用経験	平下禎二郎	外科
47	日本温泉気候物理医 学会雑誌 71(4), 221-228 (20年8月発行)	癌化学療法との相補療法として光線が有効であったと思わ れる小腸癌の1症例	北野正剛	外科
48	日本臨床外科学会雑 誌 69(10), 2656-2659 (20年10月発行)	外科的切除にて治癒した腓性胸水を伴う腓仮性嚢胞の1 例	北野正剛	外科
49	Surgery today 38(12), 1152-1154. (20年11月発行)	Pylorus-preserving pancreaticoduodenectomy in patients undergoing chronic hemodialysis.	柴田浩平	外科
50	Surgical laparoscopy, endoscopy & percutaneous techniques18(5), 516-519 (20年10月発行)	A case of retroperitoneal mucinous cystadenoma treated successfully by laparoscopic excision.	平下禎二郎	外科
51	Surgery today 38(12), 1148-1151 (20年11月発行)	Splenectomy for hypersplenism caused by adult T-cell leukemia: report of a case.	遠藤裕一	外科
52	日本内視鏡外科学会 雑誌 13(6), 763-767 (20年12月発行)	腹腔鏡下噴門形成術が有用であった超高齢者食道裂孔 ヘルニアの2例	平下禎二郎	外科

計13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
53	Clinical Oncology 20:148-151 (20年5月発行)	p53AIP1 Expression can be a Prognostic Marker in Non-Small Cell Lung Cancer	山下眞一	外科
54	APMIS 116:1097-1106 (20年12月発行)	Enhanced phosphorylation of the epidermal growth factor receptor at the site of tyrosine 992 in esophageal carcinomas.	宮脇美千代	外科
55	日気食会報 59(6):534-538 (20年12月発行)	Airway Management after an Esophagectomy with 3-Field Lymph Node Dissection for Esophageal Cancer.	山本 聡	外科
56	Journal of Thoracic Oncology (21年1月発行)	The Port Site Recurrence after a Thoracoscopic and Video-Assisted Esophagectomy for Advanced Esophageal Cancer.	山本 聡	外科
57	Journal of Experimental & Clinical Cancer Research 28:22 (21年2月発行)	Combination of p53AIP1 and survivin expression is a powerful prognostic marker in non-small cell lung cancer.	山下眞一	外科
58	Neurosurgery Quarterly. 18: 60-63, 2008 (20年4月発行)	Pilomyxoid astrocytoma: An immunohistologic study and review	阿部竜也	脳神経外科
59	Neurosurgery Quarterly. 18: 64-65, 2008 (20年4月発行)	A rare case of a traumatic aneurysm of the occipital artery: A brief report	阿南光洋	脳神経外科
60	J Clin Neurosci. 15: 791-6, 2008 (20年7月発行)	Neuroprotective and anti-amnesic effect of donepezil, a nicotinic acetylcholine-receptor activator, on rats with concussive mild traumatic brain injury.	藤木 稔	脳神経外科
61	Turk Neurosurg 18:107-13. 2008 (20年4月発行)	Invited article: surgical management of Moyamoya disease.	石井圭亮	脳神経外科
62	Turk Neurosurg. 18: 134-41. 2008 (20年4月発行)	Functional brain mapping during recitation of Buddhist scriptures and repetition of the Namu Amida Butsu: a study in experienced Japanese monks.	藤木 稔	脳神経外科
63	Neurosurg Rev 31: 447-50. . 2008 (20年10月発行)	Possible involvement of interferon beta in post-operative vasculitis restricted to the tumour bed: a case report.	阿部竜也	脳神経外科
64	Surg Neurol. 70: 576-83, 2008 (20年12月発行)	Microsurgical management of pineal region lesions: personal experience with 119 patients.	藤木 稔	脳神経外科
65	Seizure. 2009 Jan;18(1):71-5. (21年1月発行)	Neuroprotective effects of edaravone, a free radical scavenger, on the rat hippocampus after pilocarpine-induced status epilepticus.	上田 徹	脳神経外科

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
66	Hum Pathol. 2009 Mar 5 (21年3月発行)	A rosette-forming glioneuronal tumor of the spinal cord: the first case of a rosette-forming glioneuronal tumor originating from the spinal cord.	阿南光洋	脳神経外科
67	Arch Dermatol Res (20年10月発行)	A novel point mutation in type III collagen gene resulting in exon 24 skipping in a case of vascular type Ehlers-Danlos syndrome.	岡本 修	皮膚科
68	Microsurg (21年3月発行)	Sural perforator flap: assessment of the posterior calf region as donor site for a free fasciocutaneous flap	清水史明	皮膚科
69	Arch Dermatol Res (20年11月発行)	Tolerogenic antigen-presenting cells successfully inhibit atopic dermatitis-like skin lesion induced by repeated epicutaneous exposure to ovalbumin	片桐一元	皮膚科
70	J Invest Dermatol (20年5月発行)	IL-4 suppresses the recovery of cutaneous permeability barrier functions in vivo	波多野豊	皮膚科
71	Hepatology (20年5月発行)	Suppressor of cytokine signaling 1 protects mice against concanavalin A-induced hepatitis by inhibiting apoptosis. 47(5):1644-1654,2008	花田俊勝	泌尿器科
72	Clin Exp Metastasis (20年6月発行)	Epithelial to mesenchymal transition (EMT) in human prostate cancer: lessons learned from ARCaP model.	野村威雄	泌尿器科
73	Clinical Cancer Research (20年9月発行)	β 2-microglobulin signaling blockade inhibited androgen receptor axis and caused apoptosis in human prostate cancer cells.	野村威雄	泌尿器科
74	西日本泌尿器科 (20年11月発行)	ヒト外尿道括約筋衛星細胞の増殖制御機構	住野泰弘	泌尿器科
75	西日本泌尿器科 (20年11月発行)	β 2-ミクログロブリンによる腎細胞癌増殖制御機構の解析	野村威雄	泌尿器科
76	臨床泌尿器科 (20年12月発行)	前立腺癌に対する化学療法の現況と展望.	野村威雄	泌尿器科
77	西日本泌尿器科 (20年6月発行)	腎癌に対する腹腔鏡下手術	佐藤文憲	泌尿器科
78	Clinical and Experimental Ophthalmology (20年5月発行)	Optical coherence tomographic findings of vitreomacular traction syndrome with macular hole retinal detachment	谷村真知子	眼科

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
79	Graefes Archives for Clinical and Experimental Ophthalmology (20年7月発行)	Changes in retinal thickness are correlated with alterations of electroretinogram in eyes with central retinal artery occlusion.	篠田 啓	眼科
80	眼科 (20年9月発行)	網膜電気刺激の臨床応用	篠田 啓	眼科
81	British Journal of Ophthalmology (20年11月発行)	Visual perception of luxated intraocular lens by the patient	高木康宏	眼科
82	臨床眼科紀要 (20年11月発行)	網膜疾患の長期観察とその意義	篠田 啓	眼科
83	Acta Ophthalmologica (20年12月発行)	Diagnosis of an isolated retinal astrocytic hamartoma aided by optical coherence tomography.	木許賢一	眼科
84	Acta Ophthalmologica (20年12月発行)	Retinal circulatory disturbances following intracameral injection of bevacizumab for neovascular glaucoma.	横山勝彦	眼科
85	International Ophthalmology (20年12月発行)	Severe acute ocular ischemia associated with spontaneous internal carotid artery dissection.	高木康宏	眼科
86	臨床と研究 (21年1月発行)	糖尿病網膜症	木許賢一	眼科
87	Acta Ophthalmologica (21年2月発行)	Peribulbar fungal abscess and endophthalmitis following posterior subtenon injection of triamcinolone acetonide.	池脇淳子	眼科
88	耳鼻咽喉科臨床, 101(5), 349-354, 20 (20年5月発行)	鼻腔内に発生した逆生歯の3例	渡辺哲生	耳鼻咽喉科
89	耳鼻咽喉科臨床, 101(7), 541-547, 20 (20年7月発行)	頭頸部癌に対するサイバーナイフ療法の初期経験	平野 隆	耳鼻咽喉科
90	Jpn.J. Rhinol, 47(2), 109-114, 20 (20年8月発行)	Synovial sarcoma of the ethmoidal sinus	平野 隆	耳鼻咽喉科
91	日本鼻科学会誌, 47(2), 120-125, 20 (20年8月発行)	鼻副鼻腔疾患が呼吸機能へ与える影響について	立山香織	耳鼻咽喉科

計13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
92	耳鼻咽喉科臨床, 101(8), 577-585, 20 (20年8月発行)	水痘帯状疱疹ウイルスによる多発脳神経障害をきたした3例	能美 希	耳鼻咽喉科
93	Auris Nasus Larynx, 35(3), 429-431, 20 (20年9月発行)	Superior laryngeal neuralgia associated with deviation of the hyoid bone	児玉 悟	耳鼻咽喉科
94	診断病理, 25(3), 229-231, 20 (20年9月発行)	中耳カルチノイドの1例	平野 隆	耳鼻咽喉科
95	耳鼻咽喉科臨床, 101(12), 931-936, 20 (20年9月発行)	上咽頭癌に対する化学放射線同時療法—治療効果と有害事象	能美 希	耳鼻咽喉科
96	Auris Nasus Larynx, 36, 88-91, 2009 (20年12月発行)	Isolated frontal sinus aspergillosis treated by endoscopic modified Lothrop procedure	児玉 悟	耳鼻咽喉科
97	Auris Nasus Larynx, 36, 100-103, 2009 (20年12月発行)	Solitary fibrous tumor in the maxillary sinus treated by endoscopic medial maxillectomy	児玉 悟	耳鼻咽喉科
98	耳鼻咽喉科臨床, 102(1), 41-49, 2009 (21年1月発行)	即時扁桃摘のクリニカルパス	渡辺哲生	耳鼻咽喉科
99	Molecular Medicine Reports, 2, 13-15, 2009 (21年2月発行)	Alteration of SMAD4 does not participate in tumorigenesis of adenoid cystic carcinoma of the salivary gland	鈴木正志	耳鼻咽喉科
100	診断病理, 26(1), 20-23, 2009 (21年3月発行)	症例報告 鼻腔・副鼻腔奇形癌肉腫(sinonasal teratocarcinosarcoma)の1例	岡本朋代	耳鼻咽喉科
101	Gynecologic Oncology (20年4月発行)	Beta-hydroxyisovalerylshikonin has a profound anti-growth activity in human endometrial and ovarian cancer cells	高井教行	産科婦人科
102	European Journal of Obstetrics and Gynecology & Reproductive Biology (20年5月発行)	Regulation of contractility of cultured human endometrial stromal cells by tumor necrosis factor--	弓削彰利	産科婦人科
103	International Journal of Molecular Medicine (20年5月発行)	Bufalin induces growth inhibition, cell cycle arrest and apoptosis in human endometrial and ovarian cancer cells	高井教行	産科婦人科
104	Gynecologic Oncology (20年11月発行)	Erucylphosphocholine shows a strong anti-growth activity in human endometrial and ovarian cancer cells	高井教行	産科婦人科

計13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
105	Fertility and Sterility (21年2月発行)	The production of vascular endothelial growth factor and metalloproteinase via protease-activated receptor in human endometrial stromal cells	古川雄一	産科婦人科
106	European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience (20年4月発行)	Prospective study of major depressive disorder with white matter hyperintensity: comparison of patients with and without lacunar infarction.	森 宣	放射線科
107	Radiation Medicine (20年4月発行)	Radioimmunoscintigraphy of pancreatic cancer in tumor-bearing athymic nude mice using 99mtechnetium-labeled anti-KL-6/MUC1 antibody.	松村賢治	放射線科
108	Abdominal Imaging (20年7月発行)	Intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas: correlation of helical CT and dynamic MR imaging features with pathologic findings.	山田康成	放射線科
109	Neuroradiology (20年12月発行)	The anterior medullary-anterior pontomesencephalic venous system and its bridging veins communicating to the dural sinuses: normal anatomy and drainage routes from dural arteriovenous fistulas.	清末一路	放射線科
110	European Radiology (21年1月発行)	Salivary duct carcinoma of the extra glandular segment of stensen's duct: radiological findings and pathological correlation.	岡田文人	放射線科
111	Neuroradiology (21年3月発行)	Basal cerebral venous drainage from cavernous sinus dural arteriovenous fistulas.	清末一路	放射線科
112	British Journal of Radiology (21年3月発行)	Comparison of pulmonary CT findings and serum KL-6 level in patients with cryptogenic organizing pneumonia.	岡田文人	放射線科
113	IVR Interventional Radiology (20年4月発行)	頸動脈ステント留置時・留置後の血圧低下に影響を与える因子の検討.	清末一路	放射線科
114	Journal of Neuroendovascular Therapy (20年12月発行)	Angioguard XPを用いた頸動脈ステント留置術中塞栓性合併症に関する多施設共同研究-MR plaque imageと狭窄長によるハイリスク群の抽出-	清末一路	放射線科
115	Intensive Care Med. 34:1812-9, 20 (20年10月発行)	High-dose intravenous immunoglobulin G improves systemic inflammation in a rat model of CLP-induced sepsis.	岩坂日出男	麻酔科
116	Anaesthesia and Intensive Care 36:911, 20. (20年11月発行)	Tracheal tube position during percutaneous tracheostomy. Letter.	森 正和	麻酔科
117	Hypertension Res. 31: 1781-90.20. (20年7月発行)	Rescue of pulmonary hypertension with sulfonate antibiotic sulfisoxazole by endothelium receptor antagonistic action.	内野哲哉	麻酔科

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
118	Inflammation 31: 227-34, 20. (20年8月発行)	A Neutrophil Elastase Inhibitor, Sivelestat, Reduces Lung Injury Following Endotoxin-Induced Shock in Rats by Inhibiting HMGB1.	岩坂日出男	麻酔科
119	Crit Care 12:R43, 2008 (20年4月発行)	Danaparoid sodium inhibits systemic inflammation and prevents endotoxine-induced acute lung injury in rats	岩坂日出男	麻酔科
120	Crit Care Med. 36(8):2407-13, 2008. (20年8月発行)	Effects of hyperglycemia and insuline therapy on HMGB1 in endotoxine-induced acute lung injury in a rat model.	岩坂日出男	麻酔科
121	Journal of Applied Physiology. 105: 678-684, 2008. (20年8月発行)	Pulmonary Changes In a Mouse Model of Combined Burn and Smoke Inhalation-Induced Injury.	水谷明男	麻酔科
122	Anesth Analg. 107(3): 1058-63, 2008. (20年10月発行)	Pre-irradiation of blood by GaAlAs (830 nm) low-level laser enhances peripheral endogenous opioid analgesia in rats.	岩坂日出男	麻酔科
123	Shock. 30(3):280-4, 2008. (20年9月発行)	Effect of enteral vs. parenteral nutrition on inflammation and cardiac function in a rat model of endotoxin-induced sepsis.	岩坂日出男	麻酔科
124	Circ J 72:1012-1017, 2008. (20年6月発行)	High morbidity group box 1 induces a negative inotropic effect on the left ventricle in an isolated rat -a pilot study-	岩坂日出男	麻酔科
125	Journal of Surgical Research. 145:251-6, 2008. (20年4月発行)	Effects of enteral versus parenteral nutrition on LPS-induced sepsis in a rat model.	岩坂日出男	麻酔科
126	European Surgical Research 40:361-367, 2008. (20年4月発行)	Comparison of effects of total enteral versus total parental nutrition on ischemia-reperfusion-induced Heart injury in rats.	岩坂日出男	麻酔科
127	麻酔57: 764-767, 2008 (20年6月発行)	気分プロフィール検査(POMS)を用いた麻酔科医師当直時のストレス評価	安田則久	麻酔科
128	麻酔57: 691- 695, 2008. (20年6月発行)	標的調節持続静注(TCI)を利用したプロポフォール低目標血中濃度設定による心臓麻酔導入の検討.	山本俊介	麻酔科
129	麻酔57(7):895-6, 2008年 (20年7月発行)	高頻度ジェット換気と気管支ファイバーを用いた肺区域同定法.	古賀寛教	麻酔科
130	麻酔57: 443-446, 2008年. (20年4月発行)	中心静脈オキシメトリーカテーテルを用いて術中よりEarly Goal Directed Therapy (EGDT)を行った穿孔性腹膜炎の一症例.	小山淑正	麻酔科

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
131	日本ショック学会誌 "Shock" 23:79- 84,2008 (20年4月発行)	LPS誘発肺傷害モデルにおけるシベレスタットナトリウムの役割と作用機所について	岩坂日出男	麻酔科
132	呼吸27: 816-820, 2008. (20年6月発行)	講座呼吸管理入門 人工呼吸モードの選択.	安田則久	麻酔科
133	臨床麻酔 32:15091514, 2008. (20年8月発行)	講座 肥満患者の麻酔管理.	吉良慎一郎	麻酔科
134	麻酔58:98- 307,2009. (21年3月発行)	心臓外科における血糖管理	古賀寛教	麻酔科
135	Shock 31:515-20, 2009. (21年3月発行)	Landiolol, an ultra short-acting beta-1 adrenoreceptor antagonist, has protective effects in LPS-induced systemic inflammation model.	岩坂日出男	麻酔科
136	Br J Anaesth 102:400- 4007, 2009. (21年2月発行)	Evaluation of the therapeutic results of epiduroscopic adhesiolysis for failed back surgery syndrome.	竹島直純	麻酔科
137	Anesthesiol.110:361- 369, 2009. (21年2月発行)	Activation of Sensory Neurons Reduces Ischemia/Reperfusion-induced Acute Renal Injury in Rats	水谷明男	麻酔科
138	Care Med Crit Care Med.37: 626-33, 2009. (21年2月発行)	Effects of on angiotensin-converting enzyme inhibitor on the inflammatory response in vivo and in vitro model. Crit	岩坂日出男	麻酔科
139	European Journal of Pain 13:249-52, 2009. (21年2月発行)	Mechanisms of analgesic action of pulsed radiofrequency on adjuvant-induced pain in the rat: roles of descending adrenergic and serotonergic systems.	岩坂日出男	麻酔科
140	ICUとCCU別冊号33: S167-169,2009. (21年3月発行)	感染性腹部大動脈瘤術後敗血症性ショックに対しHigh flow volime CHDFが有効であった1例.	後藤孝治	麻酔科
141	ICUとCCU別冊号 33:S222-224,2009. (21年3月発行)	深在性真菌症患者に対するポリコナゾールの有効性. - CHDF施行患者における検討一.	後藤孝治	麻酔科
142	ICUとCCU別冊号33: S225-227,2009. (21年3月発行)	持続的ろ過透析施行患者におけるドリペネム体内動態の検討.	日高正剛	麻酔科
143	Diabet Med (20年11月発行)	New squatting test indices are useful for assessing baroreflex sensitivity in diabetes mellitus	中川幹子	検査部

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
144	J Cardiovasc Electrophysiol (21年1月発行)	Gender Differences in the Effect of Auditory Stimuli on Ventricular Repolarization in Healthy Subjects	中川幹子	検査部
145	Circ J (21年1月発行)	Influence of systolic blood pressure and cigarette smoking on endothelial function in young healthy people	油布邦夫	検査部
146	J Cardiol (21年2月発行)	Early atorvastatin therapy improves cardiac function in patients with acute myocardial infarction	手嶋泰之	検査部
147	Endocrinology (21年3月発行)	Adrenomedullin improves cardiac expression of heat-shock protein 72 and tolerance against ischemia/reperfusion injury in insulin-resistant rats	鳥越徳子	検査部
148	British Journal of Clinical Pharmacology (20年5月発行)	The recovery time-course of CYP3A after induction by St John's wort administration	今井浩光	内科
149	Pathology International (20年4月発行)	Genotyping of the cagA gene of Helicobacter pylori on immunohistochemistry with East Asian CagA-specific antibody.	金田亮子	歯科口腔外科
150	日本口腔腫瘍学会誌 (20年12月発行)	進行口腔癌に対する術前治療の効果—半連続全割病理標本による腫瘍残存様式—	河野憲司	歯科口腔外科
151	Biomedical Research (20年12月発行)	Topographic study on nerve-associated lymphatic vessels in the murine craniofacial region by immunohistochemistry and electron microscopy	古川雅英	歯科口腔外科
152	Neurosurgery Quarterly. 18:57-59, 2008. (20年4月発行)	Juvenile cerebral infarction owing to cervicocephalic fibromuscular dysplasia.	石井圭亮	脳神経外科
153	Neurosurgery Quarterly 18:221-222, 2008. (20年9月発行)	Traumatic aneurysm of the occipital artery.	阿南光洋	脳神経外科
154	Neurosurgery Quarterly. 18: 283-285, 2008. (20年12月発行)	Repeated skin-diving as a possible cause of aneurysmal growth and rupture.	石井圭亮	脳神経外科
155	Oncology Reports (21年3月発行)	Clinical significance of plasma metastin level in pancreatic cancer patients	片桐文彦	薬剤部
156	TDM研究 (20年6月発行)	リチウム中毒症例発生時における経時的採血の重要性	片桐文彦	薬剤部

計13件

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
157	Journal of Traditional Medicines (20年7月発行)	麦門冬湯が唾液分泌量と唾液中および血液中神経ペプチド濃度に与える効果	佐藤雄己	薬剤部
158	Cancer Chemother Pharmacol (21年1月発行)	A phase I escalating single-dose and weekly fixed-dose study of cetuximab pharmacokinetics in Japanese patients with solid tumors.	白尾國昭	内科
159	Diseases of the Esophagus (20年4月発行)	Chemosensitivity of patients with recurrent esophageal cancer receiving perioperative chemotherapy	白尾國昭	内科
160	Japanese Journal of Clinical Oncology (20年10月発行)	Multicenter Phase II Study of Cetuximab Plus Irinotecan in Metastatic Colorectal Carcinoma Refractory to Irinotecan, Oxaliplatin and Fluoropyrimidines	白尾國昭	内科
161	Japanese Journal of Clinical Oncology (20年8月発行)	A phase I study of bolus 5-fluorouracil and leucovorin combined with weekly paclitaxel (FLTAX) as first-line therapy for advanced gastric cancer	白尾國昭	内科
162	CANSER Letters. (20年5月発行)	Importance of UDP-glucuronosyltransferase 1A1*6 for irinotecan toxicities in Japanese cancer patients	白尾國昭	内科
163	International journal of clinical oncology / Japan Society of Clinical Oncology (20年5月発行)	Synergistic antitumor activity of the novel SN-38-incorporating polymeric micelles, NK012, combined with 5-fluorouracil in a mouse model of colorectal cancer, as compared with that of irinotecan plus 5-fluorouracil.	白尾國昭	内科
164	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research (20年5月発行)	Impact of Insulin-Like Growth Factor Type 1 Receptor, Epidermal Growth Factor Receptor, and HER2 Expressions on Outcomes of Patients with Gastric Cancer.	白尾國昭	内科
165	Japanese Journal of Clinical Oncology (20年5月発行)	Clinical Efficacy and Safety of Octreotide (SMS201-995) in Terminally Ill Japanese Cancer Patients with Malignant Bowel Obstruction	白尾國昭	内科
166	Oncology (20年6月発行)	Clinical Significance of Insulin-Like Growth Factor Type 1 Receptor and Epidermal Growth Factor Receptor in Patients with Advanced Gastric Cancer.	白尾國昭	内科
167	Cancer science (20年11月発行)	Dentification of prognostic biomarkers in gastric cancer using endoscopic biopsy samples.	白尾國昭	内科
168	Drug Metab Dispos. (21年2月発行)	Close Association of UGT1A9 IVS1+399C>T with UGT1A1*28, *6 or *60 Haplotype and its Apparent Influence on SN-38 Glucuronidation in Japanese.	白尾國昭	内科
169	Cancer science (20年12月発行)	Impact of vascular endothelial growth factor receptor 1, 2, and 3 expression on the outcome of patients with gastric cancer	白尾國昭	内科

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
170	Gastric Cancer (21年1月発行)	Combination chemotherapy with cisplatin and irinotecan in patients with adenocarcinoma of the small intestine	白尾國昭	内科
171	Oncology (20年11月発行)	Relationships of insulin-like growth factor-1 receptor and epidermal growth factor receptor expression to clinical outcomes in patients with colorectal cancer.	白尾國昭	内科
172	Infection and immunity (20年12月発行)	CTLA-4 blockade abrogates protection by regulatory T cells in a mouse model of microbially-induced innate immune-driven colitis	渡邊浩一郎	内科
173	Nihon Kokyuki Gakkai Zasshi (20年10月発行)	A case of amyopathic dermatomyositis-associated interstitial pneumonia accompanied with massive hemothorax	森永亮太郎	内科
174	Cancer (20年12月発行)	Association of epidermal growth factor receptor (EGFR) gene mutations with EGFR amplification in advanced non-small cell lung cancer.	森永亮太郎	内科
175	International journal of antimicrobial agents (20年12月発行)	In vitro and in vivo potency of polymyxin B against IMP-type metallo-beta-lactamase-producing Pseudomonas aeruginosa	森永亮太郎	内科
176	Nihon Kokyuki Gakkai Zasshi (20年5月発行)	Case of toxocariasis showing migratory nodular shadows with halos	森永亮太郎	内科
177	Nihon Kokyuki Gakkai Zasshi (20年5月発行)	Chronic hypersensitivity pneumonitis induced by Shiitake mushroom cultivation: case report and review of literature	森永亮太郎	内科
178	Nihon Kokyuki Gakkai Zasshi (20年5月発行)	Pulmonary metastasis of fibrosarcomatous variant of dermatofibrosarcoma protuberans: case report and review of literature	森永亮太郎	内科
179	Cancer science (20年12月発行)	Impact of vascular endothelial growth factor receptor 1, 2, and 3 expression on the outcome of patients with gastric cancer	平島詳典	内科
180	Japanese Journal of Clinical Oncology (20年7月発行)	A phase I study of bolus 5-fluorouracil and leucovorin combined with weekly paclitaxel (FLTAX) as first-line therapy for advanced gastric cancer.	平島詳典	内科
181	American Association for Cancer Research (20年5月発行)	Impact of insulin-like growth factor type 1 receptor, epidermal growth factor receptor, and HER2 expressions on outcomes of patients with gastric cancer.	平島詳典	内科
182	気管支学 (20年11月発行)	気管支内空所見を有した転移性肺石灰化症の一例	坂下博之	内科

(様式第11)

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
183	Annals of Surgical Oncology (20年7月発行)	CD133+CD44+ population efficiently enriches colon cancer initiating cells	坂下博之	内科
184	Annals of Surgical Oncology (20年7月発行)	A large-scale study of MT1-MMP as a marker for isolated tumor cells in peripheral blood and bone marrow in gastric cancer cases	坂下博之	内科

計2件
合計184件

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 古 林 秀 則			
管理担当者氏名	総務課長	松 岡 壽	医事課長	砂 山 富 恵
	薬剤部長	武 山 正 治	放射線部長	森 宣
	医療安全管理部長	鈴 木 正 志	研究・社会連携課長	永 田 恒 久

		保管場所	分類方法		
診療に関する 諸記録	病院日誌、各科診療日誌	各診療科	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に一患者一ファイル方式で、コンピューターによる集中管理を行っている。 また、エックス線写真は、放射線部において一患者一ファイルで管理を行っており、共に永久保存を原則としている。		
	処方せん	薬剤部			
	手術記録、看護記録、検査所見記録	医事課			
	エックス線写真	放射線部			
	紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課			
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課			
	高度の医療の提供の実績	医事課			
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究・社会連携課 総務課			
	高度の医療の研修の実績	総務課			
	閲覧実績	総務課			
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課			
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部			
	規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		総務課	医療事故報告の記録については統計処理が行えるよう、データ化して保管している
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医事課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医事課			
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課 (医療安全管理部)				

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	感染症報告の記録については、医療情報管理システムに保管している
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課 (感染制御部)	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理 専門委員会	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理 専門委員会	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理 専門委員会	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学・病院事務部長
閲覧担当者氏名	総務課長
閲覧の求めに応じる場所	管理棟第2会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.2%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	7,398人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,679人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,004人	
	D: 初診の患者の数	15,279人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	① (有) (2 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② (有) (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	③ (有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (1 5) 名 ・ 活動の主な内容： メディカル・リスクマネジメント委員会が有効に機能するよう具体的な提案事項等の作成，その他委員会の庶務 インシデント報告を分析し，その結果を委員会に報告すること及び現場へのフィードバック 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認と必要な指導 事故等について，患者や家族への説明などその発生時の対応状況について確認と必要な指導 事故等について，その原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導 医療内容についての相談等，医療安全に係る連絡調整，医療安全管理に関する職員研修の企画・運営，医療安全対策の推進 	
④ 当該病院内から患者の安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	④ (有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のため指針の整備状況	⑤ (有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 医療安全管理に関する基本的考え方，医療安全管理に係る体制確保のための組織等，医療安全管理に係る職員の教育・研修，医療事故発生時の対応，医療事故等の報告及び改善策の立案，当該指針の閲覧，患者相談に関する方針等 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 医療安全管理指針及び医療安全管理マニュアルの策定及び見直し，医療事故の判定，医療安全管理に関する改善策，医療安全管理のための職員研修，医事紛争，その他医療安全管理上の重要事項の審議 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 医薬品の処方・投与・管理の注意点，医療機器の安全管理，接遇講習会，医薬品の適正使用，医療安全管理部活動報告，外注職員研修，新規採用職員研修 など 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 事故報告については，調査・分析を行い，改善策の立案を行っている。全体で共有すべき事例や決定した安全対策については，毎月リスクマネージャー連絡会を開催し，リスクマネージャーを通して全体への周知を図っている。 定期的に院内ラウンドを実施し，安全情報等の周知状況や安全確認手順の実施検証を行っている。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容：院内感染に対する基本的考え方，院内感染対策のための委員会およびその他組織に関する基本的事項，院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針，感染症の発生状況の報告に関する基本方針，院内感染発生時の対応に関する基本方針，患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針，その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： 感染予防対策の確立，感染予防の実施，監視及び指導，感染源の調査，感染予防対策に関する情報の収集等 	
③ 従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年9回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：抗菌薬使用時の注意点，新型インフルエンザについて，改正感染症法における結核対策，外注職員研修，新規採用職員研修 など 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善ための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無 その他の改善のための方策の主な内容：院内の菌検出状況や感染症患者の状況を電子カルテシステム内の感染制御システムで管理している。主要な感染菌の検出状況や感染者情報については毎月報告を行っている。 抗菌薬の使用状況やTDMについても定期的に報告を行っており，注意を要する抗菌薬については届出制とし，感染制御部の介入を図っている。 感染制御部及びリンクナースによる院内ラウンドを定期的に行い，標準予防策や感染対策の実施状況の確認，指導を行っている。 また，各種感染症サーベランスも行っており，定期的に報告を行っている。 マニュアル変更や院内感染対策の重要情報については，病院運営委員会及び病院連絡会を通して周知を図るとともに，感染制御部ニュースを発刊し院内各部署へメール配信している。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年6回 (ビデオセミナーを含む)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の処方・投与・管理の注意点 医薬品業務手順書の改訂に基づいて 抗菌薬使用時の注意点 抗MRSA薬と特定抗菌薬の届出について 医薬品の適正使用 ～サクシンとサクシゾンの事例から～ 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (①・無) ・ 業務の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 平成21年7月に実施し、確認内容を保管記録している。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 得られた情報のうち必要なものについては医薬品を取り扱う職員に対して周知する。 DIニュース(月1回発行)、薬剤部便り(月1回発行)、その他必要に応じて通知文書として配布 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 45 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 人工呼吸器勉強会、AED 勉強会、除細動器勉強会、人工心肺装置勉強会、透析装置勉強会、輸液・シリンジポンプ勉強会、IABP 勉強会、PCPS 勉強会、超音波診断装置勉強会、保育器勉強会、看護部 ME 研修 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (①・無) ・ 保守点検の主な内容 : 生命維持管理装置である人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、除細動器、血液浄化装置、保育器と輸液ポンプ等の点検スケジュールの策定、実施は臨床工学技士が行っている。 また、放射線機器については、放射線技師が実施している。 (始業・終業点検、安全・動作確認等日常点検、出力測定、漏洩線量測定など) 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : 医療機器安全管理システムを用いた添付文書及び安全情報の管理、安全管理セミナー (医療機器) での周知、臨床工学技士の研修会への参加や報告 	